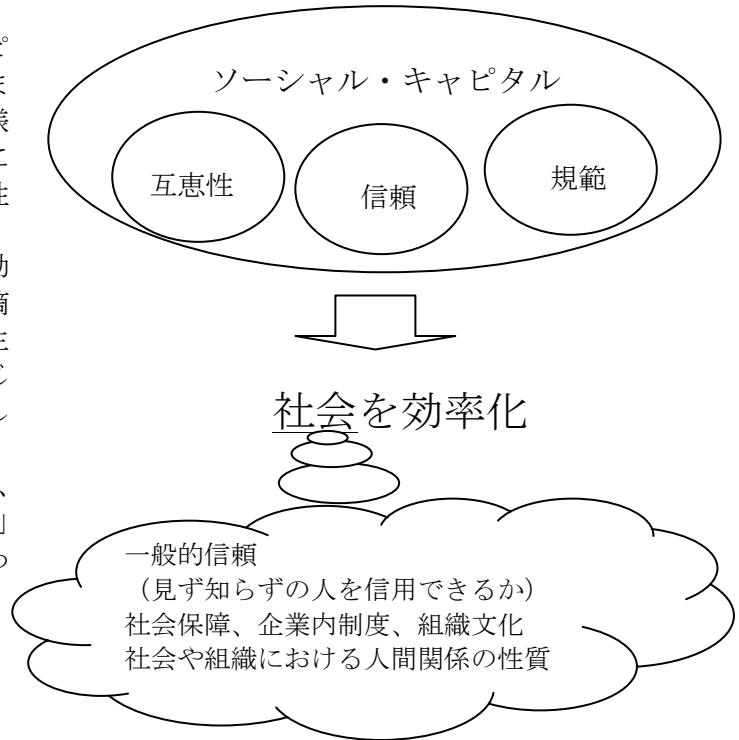
	シーズ名	「信頼」がもたらす効率性
	氏名・所属 等	山下智佳 保健医療経営大学保健医療経営学科

<概要>

近年注目されているソーシャル・キャピタルという概念は、人間の関係性から生まれる互恵性、信頼、規範、協力など、多様な考え方を含んでいる。また、その社会における人間関係のあり方によって、その性質も変わってくる。

ソーシャル・キャピタルには、社会を効率化する機能があることがかねてより指摘されており、これまでの研究では、医療生協の取り組みを事例に、取引コストをはじめとする諸コストを削減する過程を観察してきた。

現在はこの中でも特に「信頼」に注目し、医療生協だけでなく、社会の中での「信頼」のもたらすインパクトについて研究中である。



<アピールポイント>

上述のとおり、医療・福祉サービスの提供や健康維持活動を展開している消費生活協同組合である医療生協の取り組みをもとに、一定程度の効率化、コスト削減効果があること、およびそのメカニズムの一端を確認している。他の組織にも応用可能であると考えられる。

<利用・用途・応用分野>

企業（特にソーシャル・キャピタルをベースに組織化された協同組合や市民活動団体、社会的企業など）において応用を期待できる。現在は組織ベースで取り組んでいるが、社会保障制度をはじめとした、諸制度に対する住民の信頼が効率性にどのように影響を与えているのかも考察できる（諸制度を信頼しているかどうかで社会保障の納付、出産・育児といった行動が変化するのか、など）。

ほか、企業内制度において、人事管理やワーク・ライフ・バランスへの施策への信頼と、それを活用する職場風土・文化への信頼が従業員に与える影響などの考察にも応用可能性がある。

<関連する知的財産権>

特になし

<関連するURL>

特になし

<他分野に求めるニーズ>

本研究は理論研究の性格が強いため、応用する際には、諸制度やその運用実態を熟知している協力者が必要となる。

キーワード	ソーシャル・キャピタル、信頼、取引コスト
-------	----------------------